

Table with 6 columns: 事務事業名, 会計名称, 総合計画での位置づけ, 事業の性格, 事業の対象, 事業の目的, 改善策の具体的な取り組み(当初), 改善策の具体的な取り組み(二次評価後). Content includes 'コミュニティ助成事業', '一般会計', '計画の推進', '内部管理事務', '法定事務', '法令根拠等', 'コミュニティ活動助成事業', '平成 21 年度', '組合における生活環境美化推進事業...', 'コミュニティ活動助成の主旨と内容の浸透を図る.', '区長会を通じて、コミュニティ活動助成の主旨を説明するとともに、毎年交代する組合長に対して説明をお願いする。'

Table with 2 main sections: '事業費及び財源内訳 (千円)' and '事業活動の実績 (活動指標)'. '事業費' includes direct costs, personnel costs, and total costs. '財源内訳' lists national, prefectural, and local funds. '事業活動の実績' shows performance metrics for 'コミュニティ活動助成対象組合' with units and results for 2010 and 2011.

Table showing '向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)' with columns for 22年度, 23年度, 24年度, 25年度, 26年度, and 5年間の合計. Values are 4,000, 4,000, 4,000, 4,000, 4,000, and 20,000 respectively.

Table for '成果指標' and '指標設定の考え方'. '成果指標' is 'コミュニティ活動のべ参加者数'. '指標設定の考え方' is '参加者が増加すれば、活力あるコミュニティ活動につながる。'. A chart shows performance from 2010 to 2011, with actual results (18055, 17487) and targets (20000, 20000).

今年度の課題への対応状況(途中経過) 21年度は新型インフルエンザの影響で参加人員が減ってしまったが、主旨を浸透させ目標達成に努める。

Large table for '事業の自己評価(担当者)' and '一次評価(所属長)'. It contains multiple rows for '目的の妥当性', '市民ニーズへの対応', '市の関与の妥当性', '事業の効果', '成果向上の可能性', '施策への貢献度', '手段の最適性', 'コスト効率', and '受益者負担の適正'. Each row includes a score (e.g., 5, 4, 3, 2, 1) and a detailed justification. The '自己評価' section is rated 'B' for '自己の課題認識' and 'C' for '効率性'. The '一次評価' section is rated 'B' for '自己の課題認識' and 'C' for '効率性'. A note at the bottom right states: '毎年組合長が変わるので、組合によって温度差がある。' and 'コミュニティ助成事業の周知を図り、効率を高める必要がある。'

事務事業名	コミュニティ助成事業	予算事業名		担当課	総務課
会計名称	一般会計	予算科目	2 款 1 項 1 目	所属長名	安部 雅明
総合計画での位置づけ	計画の推進			担当責任者名(記入者)	安部 雅明
				電話番号(内線)	
事業の性格	内部管理事務	法定事務	法令根拠等		
事業の対象	コミュニティ活動助成事業		実施期間	【開始年度】	平成 21 年度
				【終了年度】	平成 年度(予定) 設定なし
事業の目的	活力あふれる地域づくりを推進するため、各行政区の組合が地域で行うコミュニティ事業に対する支援。		事業の内容	組合における生活環境美化推進事業、ふれあい、レクリエーション事業、伝統芸能行事の復活継承事業を対象に予算の範囲内で、助成金を交付する。	
改善策の具体的取り組み(当初)	コミュニティ活動助成の主旨と内容の浸透を図る。		改善策の具体的取り組み(二次評価後)	区長会を通じて、コミュニティ活動助成の主旨を説明するとともに、毎年交代する組合長に対して説明をお願いする。	

(担当責任者) 自己評価	妥当性	目的の妥当性	5	B	B	4	目的の妥当性	妥当性	(所属長) 一次評価		
		市民ニーズへの対応	3							4	市民ニーズへの対応
		市の関与の妥当性	4								
	有効性	事業の効果	3	C		3	事業の効果	有効性			
		成果向上の可能性	3							3	成果向上の可能性
		施策への貢献度	4								
	効率性	手段の最適性	3	C		3	手段の最適性	効率性			
		コスト効率	3							3	コスト効率
		受益者負担の適正	3								
課題認識	毎年組合長が変わるので、組合によって温度差がある。				自己評価は、担当者が主に事業推進を効率的効果的に進めたかどうかを評価したもの。 一次評価は、担当者の自己評価を踏まえて施策の推進を念頭に置き、所属長が評価したもの。				課題認識		
								コミュニティ活動助成事業の周知を図り、効率を高めることが必要。			

施策を踏まえた判断	二次評価	一次評価結果より以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。	
		一次評価結果のとおり事業継続と判断する。		
		一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
		一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。		一次評価をやり直し、 月 日 までに事務局へ提出すること。
		市民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを行政評価委員会に諮ることとする。		外部評価委員会で評価する。 答申期限： 月 日
		一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		

外部評価委員会の判断	外部評価	活動がマンネリ化しないように、アンケート等を実施し、住民の意見を事業に反映する検討も必要である。
------------	------	--

経営者会議の最終判断	事業の方向性	コメント欄
	<input type="checkbox"/> さらに重点化する。 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する。 <input type="checkbox"/> 右記の点を見直しの上、継続する。 <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する。 <input type="checkbox"/> 事業の休止、廃止を検討する。	組合によって活動状況が異なるので、区長会への説明だけでなく組合長会議に参加する等、事業の趣旨及び内容について周知徹底を図る。 また、広報紙で各組合での活動内容の紹介等を行うことによって、事業の周知や他組合での活動の活性化を図っていく。